

ターペン可溶2液形エポキシ樹脂シーラー

ニッペ

ファイン浸透シーラー 透明 ホワイト

臭気がマイルドで含浸性と密着力に優れた
弱溶剤2液形のエポキシ樹脂シーラーです。

ホルムアルデヒド
放 散 等 級

F☆☆☆☆

JIS A 6909 建築用仕上塗材
複層塗材E・RE・Si 防水形外装薄塗材E 防水形複層塗材E 下塗材

透 明

ホワイ

合 格

相 当*

*当該規格の性能を満たしています。(社内試験)

■特長

①弱溶剤系

ターペン可溶(弱溶剤)タイプなので、強溶剤タイプに比べ臭気がマイルドです。
塗り替え塗装時には幅広い旧塗膜適性があり、上塗りの選択幅も広いので、使いやすく便利です。
(但し、上塗り塗料に強溶剤形塗料は塗装できません。)

②エポキシ樹脂

浸透性が高く、素材に対して「くさび効果」を発揮します。ぜい弱素材の表面を補強し、強度を高め、
素材と強固に密着します。

③使いやすさ

ニーズに合わせて、透明タイプとホワイトタイプを用意。各種外壁からスレート屋根まで、幅広い下地に適用できます。

■用途

内外部壁面・屋根面への新設塗装、塗り替え塗装の下塗り
(内部に塗装する場合は十分に換気を行なってください。)

■適用下地

モルタル、コンクリート、PC板、押出成形セメント板、ブロック、スレート、住宅用化粧スレート屋根、
屋根用なみがたスレート、木部、けい酸カルシウム板などの各種素材、各種旧塗膜など

■適用上塗り

水性上塗り塗料全般・弱溶剤上塗り塗料全般

■各素材での使用量目安

	はけ・ウールローラー エアレススプレー塗り
けい酸カルシウム板	0.16～0.20kg/m ² /回
押出成形セメント板	0.06～0.10kg/m ² /回
コンクリート・モルタル	0.16～0.20kg/m ² /回
スレート屋根	0.15～0.30kg/m ² /回

★ 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。
必要に応じ、使用量・塗り回数を調整してください。

■容量・荷姿・混合

ファイン 浸透 シーラー	透明塗料液	透明用硬化剤
	ホワイト塗料液	ホワイト用硬化剤
容 量	12.5kg	2.5kg
荷 姿	石油缶	偏平缶
混合比	塗料液：硬化剤＝5：1(重量比)	

★ 塗料液、硬化剤ともにファイン浸透シーラー透明とファイン浸透シーラーホワイト
での共用混合はできませんのでご注意ください。

ニッペ ファイン浸透シーラー 透明 ホワイト

■塗装基準

- ◆ 混 合：2液形塗料のため
「塗料液：硬化剤＝5：1（重量比）」にて
混合し十分にかくはんしてください。
- ◆ポットライフ：6時間（気温23℃）
- ◆ 希 釈：無希釈
- ◆ 使用量：0.16～0.20kg／㎡／回
- ◆塗装方法：はけ・ウールローラー・エアレススプレー
- ◆乾燥時間

	5℃～10℃	23℃	30℃
指触乾燥時間	2時間	1時間	30分
塗り重ね乾燥時間	6時間以上 7日以内	4時間以上 5日以内	3時間以上 3日以内

★上記の数値はすべて標準の数値です。被塗物の形状・種類・素地の状態・気象条件・
使用量・施工条件および測定方法により幅を生じ増減します。
★上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。
必要に応じ、使用量・塗り回数を調整してください。

■施工上の注意（詳細な内容につきましては、製品使用説明書などにてご確認ください。）

- ・使用量は、つや感が出るまでを目安にしてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。
- ・蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など）を使用し「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ・押出成形セメント板（アスロック、メースなど）におきまして、ニッペファイン浸透シーラーとニッペリシンの組合せによる仕上げをする場合、シーラーの乾燥が不十分であると割れ、はく離などの問題が起こる場合があります。ニッペリシン仕上げの場合は、シーラーにニッペ液浸透シーラー、ニッペ浸透性シーラー（新）をご使用ください。昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や膨れ、割れ、はく離の原因になります。
- ・本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間をまもってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- ・高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・旧塗膜に発生した塵・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ・改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
- ・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10％以下（ケット科学社製CH-2型で測定した場合）、または5％以下（ケット科学社製H5000シーラー：コンクリートレンジで測定した場合）の条件で塗装してください。
- ・表面のこみ、ほこり、エポキシセメント、レタスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。

■安全衛生上の注意事項

ニッペファイン浸透シーラー 透明／ホワイト 塗料液

横倒禁止

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- ・容器を密閉してください。
- ・容器および受器を接地してください。
- ・防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用してください。
- ・火花を発生しない工具を使用してください。
- ・粉じん／ガス／蒸気／スプレー等を吸入しないでください。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- ・必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- ・取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ・適切な保護手袋／防毒マスクまたは防護マスク／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすいってください。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
- ・皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。
- ・皮膚を流水がシャワーで洗ってください。
- ・皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。

- ・取り扱った後、手を洗ってください。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けてください。
- ・直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください／取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- ・粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
- ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- ・水を消火に使用しない。適切な消火剤として、粉末、乾燥砂がある。
- ・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- ・施設にて子供の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光や水濡れは厳禁です。
- ・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度に暴露しないでください。
- ・内容物／容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すや環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。
■本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危 険	危険有害性情報
   	引火性液体および蒸気／皮膚刺激／強い眼刺激／発がんのおそれの疑い／生殖能力または胎児への悪影響のおそれ 呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ／長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ 水生生物に非常に強い毒性（急性）／長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

- ISO14001を全事業所で認証取得しております。
- このカタログは再生紙を使用しています。

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2014 NIPPON PAINT CO., Ltd. All rights reserved.

●さらに詳しい情報は、専用Webサイトへアクセス
<http://www.nipponpaint.co.jp/biz/building.html>

日本ペイント 建物

検索

カタログNo.

NP-R158

AA140207T
2014年2月作成